

要覧

令和4年度
(2022年度)

OKAYAMA
PREFECTURAL
LIFELONG
LEARNING
CENTER



みんな仲間だよ！
(ぱる)

壮

少

老

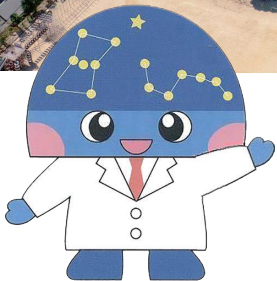


岡山県マスコット「ももっち・うらっちと仲間たち」



三学ぱる岡山
岡山県生涯学習センター

岡山県生涯学習センター全景



人と科学の未来館サイピアマスコット
「サイピィ」

Contents

1 運営の基本方針	1
2 概 要	
1 組 織	1
2 沿 革	2
3 建設概要	3
4 施設概要	3
5 施設配置図	5
3 令和4年度事業体系	6
4 令和4年度主な事業計画	
1 人材育成	7
2 市町村・公民館支援、調査研究	8
3 学習情報の発信	8
4 「学び・交流の場」としての機能充実	9
5 科学教育の推進	9
5 令和3年度事業実績	
1 人材育成	10
2 市町村・公民館支援、調査研究	12
3 学習情報の発信	13
4 「学び・交流の場」としての機能充実	13
5 科学教育の推進	14
6 施設設備の利用状況	15
7 生涯学習情報提供システム（ぱるネット岡山）	15
8 学習相談件数	16
9 視聴覚コーナー	16
10 視聴覚教材コーナー	16
11 図書・ブラウジングコーナー	16
6 関係条例及び規則	
岡山県生涯学習センター条例	17
岡山県生涯学習センター条例施行規則	19
施設等利用料金表	20

1 運営の基本方針

岡山県生涯学習センターは、県民の生涯にわたる学習活動の振興を図るため、県の拠点施設として、「第3次岡山県教育振興基本計画」等を踏まえ、市町村や関係機関などとの連携を図りながら、次の事項を重点として運営する。

特に、持続可能な地域づくり、つながりづくりを目指し、生涯学習指導者等の地域人材の育成、調査研究、情報発信などの機能強化に努めるとともに、「少・壮・老」の三世代の県民が、仲間（ばる）として、楽しく学習や交流ができるゾーン（「三学ばる岡山」）づくりを進める。

令和4年度取組の重点

① 地域の課題解決の中核となる人材の育成とネットワークづくり

- ◇地域課題に対する講座の企画・立案から実践までできる人材の養成
- ◇社会教育関係者の事業推進に係る資質能力の向上とネットワークづくり
- ◇若者が主体的に地域づくりに取り組める力の養成とつながりづくりの支援

② 市町村・公民館活動の支援と調査研究

- ◇地域の課題解決や諸事業のコンサルティングによる市町村支援
- ◇第44回全国公民館研究集会岡山県大会兼第44回中国・四国地区公民館研究集会岡山大会の企画・運営・開催
- ◇持続的な地域づくりを担う公民館活動の活性化の取組
- ◇研修の開催及び市町村での研修機会の整備充実による公民館長及び職員の資質能力の向上
- ◇社会教育に関する現代的な課題等について調査研究を行い好事例集を作成・配布

③ 生涯学習情報の積極的な発信と学習支援

- ◇生涯学習情報提供システム「ばるネット岡山」の効果的な活用及び情報提供
- ◇多様な主体と連携した生涯学習大学連携講座の充実
- ◇企業の地域貢献活動を支援するためのプログラムの作成・登録

④ 「学び・交流の場」としての機能充実

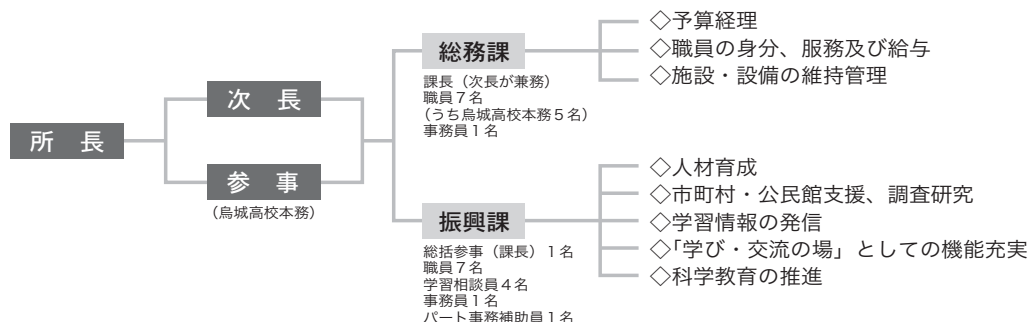
- ◇県内文化・社会教育施設をキャンパスとした新たな学びの創出
- ◇実践の機会や場、出会い・交流の場の提供
- ◇義務教育段階の基礎的な学習の学び直しの場の提供

⑤ 科学教育の推進

- ◇人と科学の未来館サイビアの運営支援（指定管理者事業実施）
- ◇JAXAとの連携

2 概要

1 組織



2 沿 革

平成2年1月	中央教育審議会が文部大臣に対し「生涯学習の基盤整備について」を答申。 この中で、地域の生涯学習を推進するための中心機関となる「生涯学習推進センター」について、都道府県が設置することが適当である旨を答申した。
平成3年4月	第4次岡山県総合福祉計画の中で、学習情報の提供、学習相談、指導者の養成等を行う生涯学習推進センターの必要性及び単位制高等学校の整備を進めることが述べられた。
平成4年3月	岡山県生涯学習推進会議が、「岡山県における生涯学習推進の基本的な考え方」についての意見具申の中で、県の生涯学習推進の中核施設である「生涯学習推進センター」の早急な整備を求めた。
平成5年3月	岡山県立短期大学跡地に、生涯学習推進センター（仮称）と単位制に改編する県立鳥城高等学校を一体的に整備する「生涯学習推進センター（仮称）整備基本構想」策定
平成6年3月	「岡山県立短期大学跡地整備基本計画」策定
12月	「岡山県立鳥城高等学校・生涯学習推進センター（仮称）基本設計」完了
平成7年3月	「岡山県立鳥城高等学校・生涯学習推進センター（仮称）実施設計」完了
11月	建設工事着工
平成8年12月	岡山県生涯学習センター竣工
12月	12月議会において「岡山県生涯学習センター設置条例」制定
平成9年1月	同条例施行、機関設置
2月	岡山県生涯学習センターオープン記念式
2月	岡山県生涯学習情報提供システム「ばるネット岡山」稼働
5月	岡山県生涯学習大学「のびのびキャンパス岡山」開設
平成10年2月	「県立鳥城高等学校・県生涯学習センターの一体的運営に関する委員会」発足
10月	岡山県生涯学習情報提供システム「ばるネット岡山」が岡山情報ハイウェイに接続され、インターネット上で情報提供開始
平成12年6月	岡山県公民館連合会事務局を県教育庁生涯学習課から移管
平成12年度	文部省委嘱事業「生涯学習ボランティア推進フォーラム」、「キャリア開発学習情報提供推進事業」実施
11月	岡山県生涯学習推進中核施設連絡協議会を設立
平成13年3月	国庫補助「情報技術学習環境整備事業」によりパソコン教室2を整備
平成14年2月	岡山県生涯学習センター開所5周年記念事業を実施
3月	岡山県生涯学習情報提供システム「ばるネット岡山」を更新
4月	「おかやま長寿学園」を「岡山県生涯学習大学」に統合
4月	情報・創作棟4階 資料室をパソコン教室2として供用開始
6月	岡山県公民館連合会発足50周年に伴う記念事業を実施
7月	岡山県体験活動ボランティア活動支援センターを設置
平成17年4月	生涯学習・社会教育担当者向けの研修をリニューアル
平成18年3月	岡山県生涯学習推進施設中核施設連絡協議会を解散
11月	「まなびピア岡山2007」プレフェスティバルを開所10周年記念事業と兼ねて開催
平成19年2月	岡山県生涯学習情報提供システム「ばるネット岡山」を更新
4月	施設設備の維持管理業務及び施設等の利用許可業務等一部の業務に指定管理者制度を導入
4月	情報・創作棟4階 パソコン教室2をミーティング室4、データ入力室をパソコン教室2として供用開始
11月	「まなびピア岡山2007in 三学ばる岡山」を開催
平成20年11月	池田動物園、県立児童会館、岡山県生涯学習センターで連携し「京山キッズゾーン」を立ち上げ、「第1回京山祭」を開催
11月	「おかやま学びフェスタ2008」を開催
平成21年4月	情報課を振興課に統合し新しく振興課とする。
平成23年3月	県立児童会館閉館
平成23年9月	「岡山県生涯学習センター未来科学棟（仮称）整備基本計画」策定
平成24年4月	「岡山県生涯学習センター運営協議会」設置
平成24年5月	「岡山県生涯学習センター未来科学棟（仮称）専門委員会」設置 （のちに「岡山県生涯学習センター人と科学の未来館サイピア専門委員会」に名称変更）
平成24年6月	岡山県生涯学習センター未来科学棟（仮称）建設工事着手
平成24年10月	新施設の名称が「人と科学の未来館サイピア」に決定
平成25年3月	岡山県生涯学習センター人と科学の未来館サイピア竣工
平成25年4月	施設設備の維持管理業務及び施設等の利用許可業務等一部の業務に、人と科学の未来館サイピア及び児童遊園地の運営業務、喫茶棟の利用促進業務を加えて指定管理業務を開始
4月	情報・創作棟5階 教材制作室をミーティング室5として供用開始
4月	岡山県生涯学習センター人と科学の未来館サイピア開館
平成26年4月	岡山県生涯学習センター人と科学の未来館サイピア 入館者10万人達成
平成27年2月	岡山県生涯学習センター人と科学の未来館サイピア 入館者20万人達成
平成28年度	岡山県生涯学習センター開所20周年記念事業を実施（11月・2月）
平成29年8月	岡山県生涯学習センター人と科学の未来館サイピア 入館者50万人達成
平成30年2月	岡山県生涯学習情報提供システム「ばるネット岡山」を更新
平成30年4月	岡山県生涯学習センターの指定管理者更新
平成31年2月	情報・創作棟の耐震工事竣工（平成30年7月着工）
令和元年11月	岡山県生涯学習センター困障改修工事（1工区、2工区）竣工（令和元年7月着工）
令和2年4月	情報・創作棟4階 パソコン教室2を中研修室、パソコン教室2をパソコン教室、情報・創作棟5階編集室をミーティング室6、録画・録音スタジオ及び調整室をスタジオ及び控室として供用開始

3 建設概要

敷地面積 45,010㎡

建築面積 7,566㎡

延床面積 14,320㎡

構造規模

交 流 棟／鉄筋コンクリート造2階建

学 生 食 堂／鉄筋コンクリート造平屋建

情報・創作棟／鉄筋コンクリート造5階建

喫 茶 棟／鉄骨造平屋建

講 義 棟／鉄筋コンクリート造5階建

公 衆 便 所／鉄筋コンクリート造平屋建

体 育 館／鉄筋コンクリート造2階建

人と科学の未来館サイピア／鉄筋コンクリート造2階建

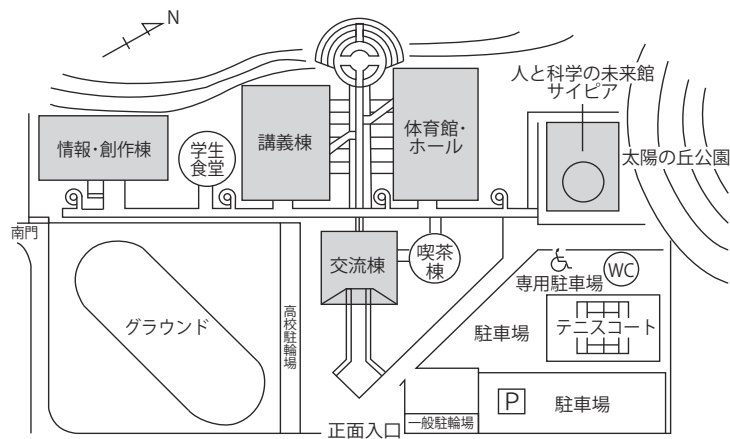
駐 車 場／鉄骨造、アスファルト・芝生舗装

4 施設概要

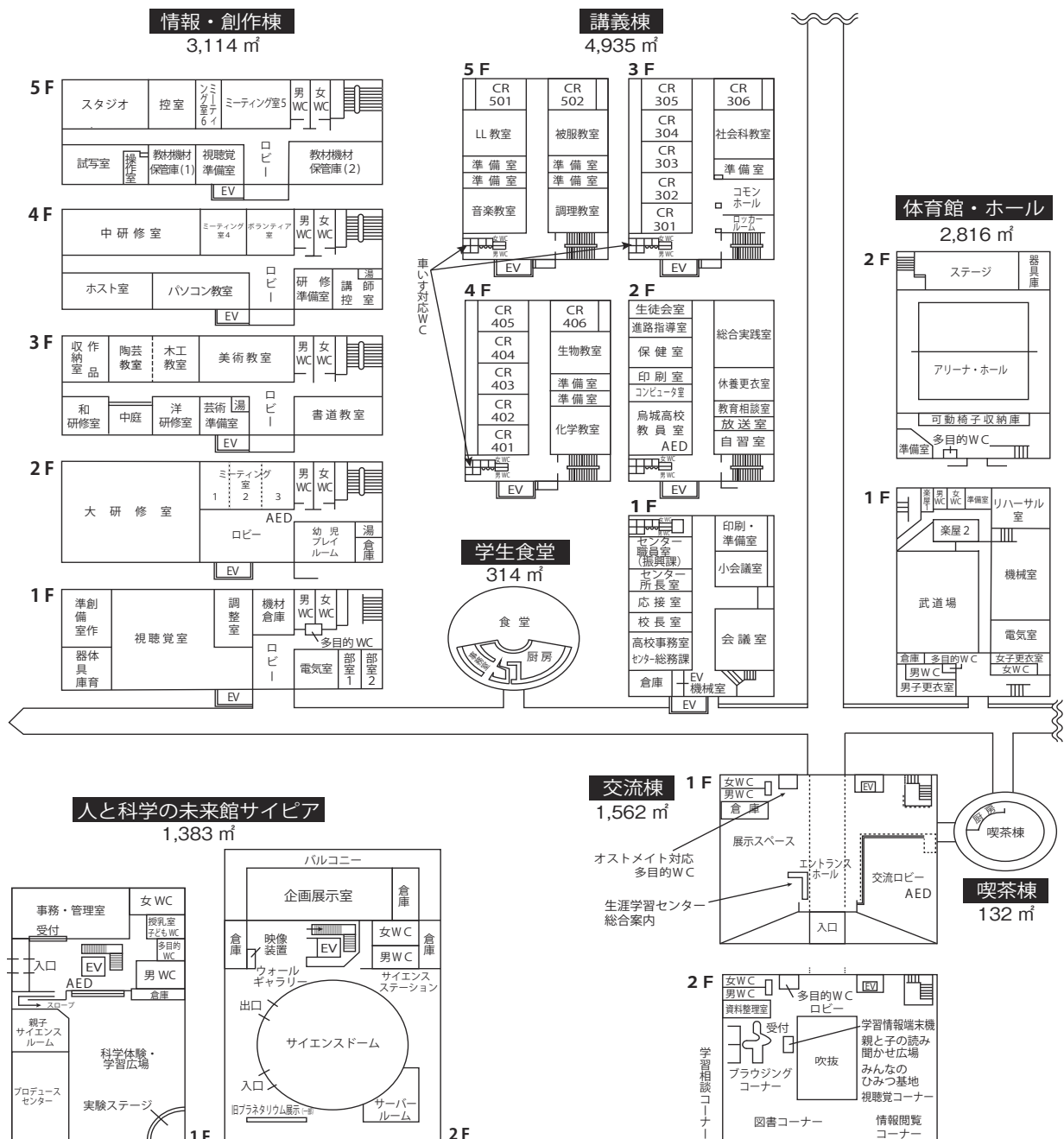
建 物	階別	室 名	面積	定員	主 要 設 備 内 容
情 報 ・ 創 作 棟	1 階	視 聴 覚 室	261㎡	72人	ハイビジョン対応のプロジェクター、その他各種映像再生機器
	2 階	大 研 修 室	261㎡	150人	液晶プロジェクター、簡易ステージ、DVDビデオデッキ、演台、ホワイトボード、スクリーン
		ミーティング室 1	28㎡	18人	ホワイトボード
		ミーティング室 2	22㎡	12人	ホワイトボード
		ミーティング室 3	28㎡	18人	ホワイトボード
		幼 児 プ レ イ ル ーム	50㎡	—	幼児用絵本、おもちゃ、ビデオ付テレビ等
	3 階	和 研 修 室	33㎡	—	茶道用道具（有料）
		洋 研 修 室	33㎡	12人	—
		陶 芸 教 室	39㎡	24人	作業台、電動ろくろ等陶芸工具
		木 工 教 室	39㎡	8人	卓上糸鋸盤等木工具
		美 術 教 室	80㎡	35人	チャートハンガー、各種画材用具等、プロジェクションテレビ
		書 道 教 室	66㎡	32人	チャートハンガー、プロジェクションテレビ
	4 階	中 研 修 室	116㎡	60人	ホワイトボード、スクリーン、プロジェクター
		パ ソ コ ン 教 室	66㎡	20人	パソコン21台、プリンター、スクリーン、プロジェクター
		ボ ラ ン テ ィ ア 室	40㎡	18人	ホワイトボード、スクリーン
		ミーティング室 4	40㎡	18人	ホワイトボード、スクリーン
		ホ ス ト 室	66㎡	—	—
		講 師 控 室	28㎡	—	—
	5 階	ス タ ジ オ （ 控 室 ）	116㎡	—	グランドピアノ（有料）
		ミーティング室 5	58㎡	26人	ホワイトボード
		ミーティング室 6	21㎡	12人	ホワイトボード
		試 写 室	66㎡	18人	プロジェクター、DVDプレーヤー、16ミリ映写機等
講 義 棟	1 階	校 長 室	40㎡	—	—
		応 接 室	40㎡	—	—
		事 務 室	75㎡	—	（高校事務室、センター総務課）
		所 長 室	40㎡	—	—
		セ ン タ ー 職 員 室	80㎡	—	（センター振興課）
		会 議 室	121㎡	63人	—
		小 会 議 室	64㎡	32人	—
		印 刷 ・ 準 備 室	64㎡	—	—

建 物	階別	室 名	面積	定員	主 要 設 備 内 容
講 義 棟	2 階	教 員 室	160㎡	－	－
		コ ン ピ ュ ー タ 室	40㎡	－	－
		印 刷 室	40㎡	－	－
		保 健 室	66㎡	－	－
		進 路 指 導 室	54㎡	－	－
		生 徒 会 室	43㎡	－	－
		総 合 実 践 室	163㎡	－	パソコン 42台
		休 養 更 衣 室	80㎡	－	－
		教 育 相 談 室	40㎡	－	－
		放 送 室	40㎡	－	－
		自 習 室	80㎡	－	－
	3 階	CR(クラスルーム)× 6	64㎡	40人	－
		社 会 科 教 室	120㎡	40人	ホワイトボード
		コ モ ン ホ ー ル	80㎡	－	自動販売機、洗面台
		ロ ッ カ ー ル ー ム	80㎡	－	－
	4 階	CR(クラスルーム)× 6	64㎡	40人	－
		生 物 教 室	120㎡	40人	－
		化 学 教 室	121㎡	40人	－
	5 階	CR(クラスルーム)× 2	64㎡	40人	－
		L L 教 室	120㎡	40人	LLシステム
		音 楽 教 室	117㎡	40人	グランドピアノ、CD等音響機器
		被 服 教 室	121㎡	40人	－
		調 理 教 室	120㎡	40人	－
交 流 棟	1 階	展 示 ス ペ ー ス	200㎡	－	生涯学習センター総合案内、展示パネル、展示ケース
		交 流 口 ビ ー	220㎡	80人	プロジェクションテレビ
	2 階	親と子の読み聞かせ広場	80㎡	－	－
		みんなのひみつ基地	77㎡	－	－
		視 聴 覚 コ ー ナ ー	3 ㎡	－	DVD用ブース（5ブース）
		情 報 閲 覧 コ ー ナ ー	144㎡	－	－
		学 習 相 談 コ ー ナ ー	80㎡	－	生涯学習情報提供システム公開端末機（2台）
		図書・ブラウジングコーナー	160㎡	－	－
体 育 館・ ホ ー ル	1 階	武 道 場	336㎡	－	－
		リ ハ ー サ ル 室	93㎡	－	－
		楽 屋 1	12㎡	－	洗面台、丸椅子、コートハンガー
		楽 屋 2	25㎡	－	洗面台、丸椅子、コートハンガー
	2 階	ア リ ー ナ	896㎡	500人	可動椅子500席（有料）、各種音響・照明設備、プロジェクションテレビ、OHC
学 生 食 堂	1 階		314㎡	220人	鳥城高等学校専用
喫 茶 棟	1 階		132㎡	64人	（喫茶ばる）
グラウンド			7,273㎡	－	夜間照明
テニスコート			1,254㎡	－	オムニコート2面
駐 車 場		立 体 ・ 平 面	1,751㎡	－	普通車180台、大型バス4台、身体障害者用1台
		芝 生	976㎡	－	普通車29台、身体障害者用3台
人 と 科 学 の 未 来 館 サイピア	1 階	科学体験・学習広場	237㎡	－	液晶プロジェクター、大型モニター、スクリーン他
		プロデュースセンター	70㎡	－	ホワイトボード他
		親子サイエンスルーム	33㎡	－	幼児用絵本、おもちゃ、各種遊具他
	2 階	企 画 展 示 室	101㎡	－	液晶プロジェクター、スクリーン他
		サイエンスドーム	176㎡	132人	投影機他

5 施設配置図



生涯学習センター・鳥城高等学校施設内配置図



3 令和4年度事業体系

人材育成

◇基礎研修	・ 初任者研修
◇実践型指導者養成	・ 【新】ファシリテーション・コーディネーションスキルアップ講座 ・ 社会教育実践専門講座 ・ 若者発！まちプロ ・ 現代的課題の解決に向けた研修プログラム開発講座 ・ 公民館長・職員研修 ・ 地域学校協働活動推進員等レベルアップ講座 ・ 【新】就学前の非認知能力育成支援のための人材養成研修会 ・ すこやか家庭教育相談員養成講座・子育てサポータースキルアップ講座 ・ 子どもほっとライン相談員養成講座

市町村・公民館支援、調査研究

◇市町村支援	・ 生涯学習・社会教育よろず相談（市町村コンサルティング）
◇公民館活動の活性化	・ 【臨】第44回全国公民館研究集会岡山県大会 兼 第44回中国・四国地区公民館研究集会岡山大会 ・ 公民館連合会研修 ・ 公民館職員が選ぶ！講座アワード ・ 市町村出前講座事業
◇調査研究	・ 生涯学習・社会教育にかかわる調査・研究 「協働」を視点とした地域学校協働活動

生涯学習情報の発信

◇情報提供	・ ばるネット岡山の管理と運営 ・ 企業発！みらプロ ・ おかやま子ども応援人材バンク
◇生涯学習大学	・ 連携講座
◇学習相談	・ 相談業務の充実と広報
◇広報	・ H P、Facebook等による発信
◇教材の活用と提供	・ 視聴覚教材、機材

「学び・交流の場」としての機能充実

◇発表、展示、体験、交流	・ 京山祭 ・ 企画Labの運営 ・ 施設ボランティアの活動支援
◇生涯学習大学	・ 主催講座「きっず☆ユニバ」「ボランティア・スタート講座」 ・ 生涯学習の集い
◇学び直し	・ 学びingばる教室（公民館等を活用した夜間学び直し推進事業）
◇生涯学習団体等への貸出	・ 情報・創作棟（研修室、会議室）の活用 ・ 交流棟の活用（展示、発表）

科学教育の推進

◇サイピアの運営支援	・ プラネタリウムプログラム ・ 科学実験教室 ・ 学校学習利用の促進 ・ 企画展示
◇JAXA連携事業	・ 学校教育支援（授業支援、教職員研修） ・ 社会教育支援（宇宙の学校、コズミックカレッジ）

4 令和4年度 主な事業計画

1 人材育成

事業名	主な内容	対象：定員	期間	予算
生涯学習・社会教育関係職員研修講座 初任者研修	生涯学習・社会教育行政の推進に必要な基礎的な知識・技能の研修を行い、行政職員や生涯学習推進者としての資質の向上を図る。また、職員間のネットワークづくりを支援する。	生涯学習・社会教育推進担当者で勤務年数が少ない方、基礎的な知識を学びたい方等	5月～11月	117千円
【新】ファシリテーション・コーディネーションスキルアップ講座	生涯学習・社会教育関係者が自らの事業に生かせるよう、その重要な要素となるコーディネーションやファシリテーションに焦点を当て、事業推進のキーパーソンとしての意識や能力の向上を図る。また、関係者のネットワークづくりを図る。	市町村行政担当者、公民館職員、NPO等生涯学習・社会教育団体関係者、地域学校協働活動関係者、首長部局（まちづくり等）等	9月	360千円
社会教育実践専門講座	県の社会教育行政の当面する諸課題に対応し、事業や講座の企画・立案、人や情報のコーディネート、各種団体等との連携など、専門的な知識・技術に関する研修及び日常の業務に役立つ実践的な研修を行う。 令和4年度のテーマは「子どもと創る未来のふるさと～小中学生を核とした地域づくり～」	生涯学習・社会教育担当職員、公民館職員、首長部局関係職員、社会教育施設職員、学校教育関係者、社会教育・生涯学習に関わるボランティア・NPO等	6月～令和5年1月	269千円
若者発！まちプロ	県内の地域づくりの第一線で活躍している方とところへインターンに行き、実践型研修をとおして自らの思いを実現するための自主性・行動力を身につけることで、それぞれの地域や学校で活躍する人材の育成を図る。	県内大学生等	6月～10月	604千円
現代的課題の解決に向けた研修プログラム開発講座	地域における現代的課題の把握、解決のための事業計画の立案などを行い、社会教育関係職員に求められる資質・能力の向上を図る。	市町村行政担当者、生涯学習・社会教育担当者	6月～9月	250千円
岡山県公民館連合会研修	持続的な地域づくりを担う公民館活動の推進に向けた研修を行い、職員や市町村公民館担当者の資質の向上を図る。	公民館職員・市町村教育委員会公民館担当者	5月～令和5年1月	県公連予算で対応
地域学校協働活動推進員等レベルアップ講座	地域学校協働活動推進員や市町村担当者などが必要とするコーディネート力、ファシリテート力等の資質・能力の育成・向上を目的とする。	地域学校協働活動推進員または推進員として活躍が期待される方、市町村教育委員会担当者・社会教育関係職員	7月～11月	183千円
【新】就学前の非認知能力育成支援のための人材養成研修会	非認知能力の育成に特に重要な時期とされる就学前の子どもたちへの関わり方を保護者等が学べるように「就学前の非認知能力育成プログラム」を家庭教育講座等で進捗できるファシリテーターの育成を図る。	子育て支援者（子育て関係NPOの職員、家庭教育支援チームのメンバー、親プロファシリテーター、民生委員）、教職員等	11月～令和5年1月	378千円
すこやか家庭教育相談員養成講座・子育てサポータースキルアップ講座	すこやか家庭教育相談員の養成と資質向上、また、家庭教育支援関係者、子育てサポーター等のスキルアップを図るため、乳幼児期から少年期の家庭教育に関する専門的知識の習得を目指す。	すこやか家庭教育相談員、市町村関係職員、社会教育・学校教育関係職員等の家庭教育支援関係者、子育てサポーター・子育て支援団体・グループのリーダー等で市町村から推薦を受けた方	10、11月	84千円
子どもほっとライン相談員養成講座	新規の学生相談員を養成するため、子どもを取り巻く問題、電話相談の基本的なあり方、カウンセリングに関する知識・技術の習得及び資質の向上を図る。	令和4年度新規学生ボランティア相談員	5月	105千円

2 市町村・公民館支援、調査研究

事業名	主な内容	対象：定員	期間	予算
生涯学習・社会教育 よろず相談	市町村の生涯学習・社会教育計画、各地域に応じた課題、諸事業などについて、大学関係者、県生涯学習センター社会教育主事等が、市町村教育委員会、公民館等に対するコンサルティングを行うことにより、より有効な生涯学習・社会教育推進体制の整備を図る。	市町村教育委員会	年間	178千円
【臨】第44回全国公民館研究集会岡山県大会兼第44回中国・四国地区公民館研究集会岡山大会	中国・四国地区の公民館関係者をはじめ、生涯学習・社会教育関係者が、地域の「夢」を育んでいくこれからの公民館活動の在り方について研究協議を行い、公民館活動の推進を図る。	公民館職員、生涯学習・社会教育関係者	10月	実行委員会予算で対応
岡山県公民館連合会	県下の公民館等と連携し、地域の拠点として持続的な地域づくりを担う公民館活動の振興発展に寄与する。	公民館職員	随時	県公連予算で対応
市町村出前講座事業	市町村からの要請に応じて当該市町村で行われている公民館研修会等（連絡会も含む）を岡山県公民館連合会が訪問し、実態に応じた研修等を行い、各市町村の公民館職員の資質・能力の向上を図る。	公民館・市町村公民館所管課	年間	県公連予算で対応
調査研究	生涯学習・社会教育に関する調査・研究を実施する。	県民一般	年間	263千円

3 学習情報の発信

事業名	主な内容	対象：定員	期間	予算
生涯学習情報提供システムの管理と運営	「ばるネット岡山」システムを活用し、学習情報提供の充実を図る。		年間	運営費で対応
生涯学習情報の収集・整理	コンピュータネットワークで提供する「講座・イベント情報」「講師・ボランティア情報」等の更新と情報量の充実を図る。		常時	運営費で対応
企業発！みらプロ	社会教育主事がコーディネーターとして相談・助言を行いながら、企業の資源を生かした「学習」と「社会」をつなぐ子どもの「学びの場」の1つとして、地域貢献活動を行いたい企業とプログラムを協働して作成することで、企業等が教育の観点から積極的に参画する社会づくりを推進する。	学校・公民館等で地域貢献活動を行いたい企業（2企業）	年間	175千円
おかやま子ども応援人材バンク	企業・団体等が有している専門的な知識や経験などを学校教育や休日・放課後等における教育活動に取り入れ、子どもの豊かな学びや成長を支援する仕組みづくりを推進する。	県民一般	年間	運営費で対応
生涯学習大学	県の特性を生かした講座を開設するとともに、多様な学習講座を体系化し情報提供する。さらに、学習成果を評価することにより、生涯学習の一層の振興を図る。 （主催講座） 生涯学習センターが主催する講座 ・ボランティア・スタート講座 ・きっず☆ユニバ （連携講座） 他の行政機関及び民間が主催する講座	県民一般 定員 20名 定員 100名 定員 講座ごとに設定	年間	3,408千円
生涯学習の集い	岡山県生涯学習大学の受講生に対し、証書の授与や学習成果発表の場を提供するとともに、生涯学習フォーラムを開催し、県民一般への生涯学習の普及・啓発を図る。	受講生 県民一般	令和5年 2月	
学習相談	学習相談員が面談、手紙、電話、ファクシミリ、電子メールで、生涯学習に関する相談に応じる。	県民一般	常時	運営費で対応
情報・図書資料の収集・整理	図書、逐次刊行物、新聞等を収集・整理し学習者に提供する。	県民一般	常時	運営費で対応
視聴覚コーナーの整備・運営	専用ブースで、郷土に関する映像や映画、アニメーション等を提供する。	県民一般	常時	581千円
視聴覚教材・機材の整備・貸出	視聴覚教材や機材の整備・貸出等を行い、学習活動を支援する。	県内の団体	常時	運営費で対応
視聴覚教育の普及・広報活動	視聴覚教材新着リストを作成し、一般への視聴覚教育の普及と視聴覚教材の利用促進を図る。	教材利用団体	随時	運営費で対応
センターだより（情報誌）等の発行	センターの事業等を紹介するために、要覧、リーフレット、情報誌等を作成し、関係機関等に配布する。	県民一般 関係機関	要覧 年1回 情報誌 年1回 リーフレット 随時	運営費で対応

4 「学び・交流の場」としての機能充実

事業名	主な内容	対象：定員	期間	予算
京山祭	生涯学習センターの施設の一部を開放し、体験や遊びのコーナーを設け、家族や仲間とのふれあいや交流の場を提供する。	県民一般	6月、12月	互助助成事業予算で対応
発表・展示・交流	展示スペース、交流ロビー等を生涯学習の成果の発表の場として提供する。	生涯学習関連団体、県民一般	随時	運営費で対応
施設ボランティアの活動の促進	自己実現及び社会参加を目的に、自発的、自主的なボランティアとしての活動を促し、生涯学習センター、人と科学の未来館サイピアの運営機能の活性化を図る。	県民一般	年間	運営費で対応
企画 Lab の運営	社会貢献への思いをもった方や講座修了生等実践の場を提供するとともに、県民に対しての出会い・交流の場を提供する。 ・交流棟での活動 等			
イベントの運営補助	各種イベント等の運営補助、出展ブースの企画・運営等の活動の場を提供する。 ・宇宙の学校 ・サイピアサイエンスショー ・京山祭 等			
公民館等を活用した夜間学び直し推進事業「学び ing ばる教室」	義務教育段階の基礎的な学習の学び直しの場を提供する。	県民一般	年間 毎月2回	1,361千円
施設・設備の提供	県民に生涯学習センターの施設・設備を提供し、生涯学習を支援する。	関係機関、県民一般	常時	運営費で対応

5 科学教育の推進

事業名	主な内容	対象：定員	期間	予算
人と科学の未来館サイピアの運営支援 (指定管理者実施)	プラネタリウム投影 ドーム内イベント（コンサート、記念講演） 企画展示 科学実験教室等 学校学習の受入れ 子ども科学クラブ (子ども天文教室) (わくわく仮説実験教室) 友の会 科学フェスティバル サイエンス・インストラクター パンフレット、チラシ、広報紙	県民一般 県民一般 県民一般 県民一般 小中学校等 会員 会員 県民一般 県民一般 県民一般	年間 年間 年間 休日、夏休み等 随時(平日) 年間8回 年間9回 交流会年1回 会報誌毎月発行 夏期 養成講座年1回 随時	
JAXAとの連携事業	JAXAとの事業連携に基づき、関係機関、団体や市町村教委等と連携を図り、学校教育及び社会教育支援事業を実施し、宇宙教育の振興を図る。 ○学校教育支援活動：県内2小学校を中心に計画 ○教職員研修支援活動：総合教育センター研修において計画 ○社会教育支援活動：コズミックカレッジ ：宇宙の学校 ：宇宙の学校指導者セミナー ○パブリックビューイング	県内2小学校 県内教職員 県民一般 県民一般 県民一般 県民一般	年4回 年1回 年1回 年4回 年1回 随時	1,542千円
連携・協働型事業	県教育委員会や大学・企業、NPOを含めた各種団体との連携・協働により、魅力的な事業の誘致、共催実施等を図る。	県民一般	随時	
専門委員会の開催	サイピアの運営について、広く学識経験者、教育関係者等から意見を聴取し、各種施策に反映させる。		年2回	

5 令和3年度事業実績

1 人材育成

事業名	実施期間	内 容	参加者数
生涯学習・社会教育関係職員研修講座 初任者研修	令和3年5月18日 令和3年9月29日 ～9月30日	生涯学習・社会教育の推進に必要な基本的な知識の理解・技能の研修を行い、行政職員や生涯学習推進者としての資質向上を図った。 ◆第1回（岡山市新任公民館職員研修と兼ねる。） 【講義】「基礎から学ぶ生涯学習・社会教育」 講師 岡山大学大学院教育学研究科 教授 熊谷 慎之輔 【説明】「岡山県の社会教育行政の現状」 【ワークショップ】「地域のミリョク」 岡山市立一宮公民館 主任（社会教育主事）坪井 玲子 岡山市立京山公民館 主任（社会教育主事）柏崎 希 岡山市立御南西公民館 主任（社会教育主事）長崎 百絵 ◆第2回（みんな集まれ！社会教育宿泊研修と兼ねる。） 【講義・演習】「人を巻き込み、動くプロジェクト・集団を生み出す ～コーディネートから場づくりまで～」 講師 株式会社いむすび 代表取締役 古林 拓也	34名 21名
みんな集まれ！ 社会教育宿泊研修	令和3年9月29日 ～9月30日	生涯学習・社会教育関係者に必要なコーディネーションやファシリテーションのスキルに焦点を当て、事業推進のキーパーソンとしての意識や能力の向上を図った。 （生涯学習・社会教育関係職員研修講座初任者研修第2回と兼ねる。） ◆1日目・2日目 【講義・演習】「人を巻き込み、動くプロジェクト・集団を生み出す ～コーディネートから場づくりまで～」 講師 株式会社いむすび 代表取締役 古林 拓也	26名
社会教育実践専門 講座	令和3年6月24日 令和3年7月27日 令和4年1月18日	生涯学習・社会教育関係者を対象に、地域のつながりづくりや課題解決に向けた事業・講座づくりをとおして、実践的・専門的な知識の習得、資質向上を図った。令和3年度のテーマは、「ICTを活用した事業づくり～新しい可能性を発見する～」 ◆第1回 【講義】「ICTを活用した新しい学びの可能性を考える」 講師 埼玉大学教育学部 教授 安藤 聡彦 【実践発表】「マニヤミンとマナブウのオンライン学習～まちだ中央公民館の取組～」 講師 町田市生涯学習センター 担当係長 岩田 武 【講義】「福岡市公民館の取組～思いを行動に移したストーリー～」 講師 九州大学大学院人間環境学研究院 教授 岡 幸江 ◆第2回 【講義】「事業づくりとは～ICTを活用した新たなベースキャンブづくり～」 講師 一般財団法人日本青年館「社会教育」編集長 近藤 真司 【演習】「ICTを活用した事業・講座の作成・見直し」 講師 一般財団法人日本青年館「社会教育」編集長 近藤 真司 ◆第3回 【実践発表・振り返り】 講師 一般財団法人日本青年館「社会教育」編集長 近藤 真司	20名 9名 8名
若者発！まちプロ	令和3年7月10日 ※第1回を延期したため、第1回、 2回は同日の開催 令和3年7月23日 令和3年8月～9月 ※中止 令和3年9月18日 ※中止 令和3年10月10日	地域活動に興味・関心をもつ大学生等を対象に、地域づくりの第一線で活躍している方とところで実践型研修を行い、地域づくりの現状に触れるとともに、自らの思いを実現するための自主性、行動力を身につけることで、地域や学校で活躍する人材の育成を図る。 ◆第1回【団体視察研修】 ○実施団体の紹介、参加者自己紹介 ○参加者と団体のマッチング ◆第2回【事前オンライン研修】 ○現地研修に向けての事前準備 ○団体の活動や背景をつかむためのテーマディスカッション ◆第3回【出会うためのワークショップ】 ○「自分の目線、考えたことを大切に、表現する」ことを学ぶ ○現地研修に向けたアイスブレイク的なワークショップ ◆第4回【実践トライアル研修】 ○現地団体の活動に参加 ○紹介したい地域の出来事や魅力を選定し、調査 ◆第5回【表現するためのワークショップ】 ○発表共有会に向けて、自分の考えを表現する、体験を伝える方法を考える作戦的ワークショップ ◆第6回【交流勉強会】 ○受け入れ団体と学生との交流の場 ○テーマディスカッションによる今後の関係づくり 講師 高梁市多文化共生事業 コーディネーター ハブ ヒロシ 岡山県地域おこし協力隊ネットワーク 藤井 裕也	11名

事業名	実施期間	内 容 等	参加者数
現代的課題の解決に向けた研修プログラム開発講座	令和3年7月8日 令和3年8月26日 令和3年10月5日	地域における現代的課題を把握し、その解決を目指して主体的に関わる人づくりのための研修プログラムを計画・立案することで、市町村の社会教育行政職員に求められる資質・能力の向上を図った。 ◆第1回 【講義】「現代的課題の解決に向けた社会教育行政の役割」 講師 独立行政法人 教職員支援機構つくば中央研修センター センター長 清國 祐二 【演習】「現代的課題を扱った事業計画の立案1」（課題抽出と分析） 講師 国立教育政策研究所 社会教育実践研究センター 社会教育調査官 石津 峰 ◆第2回 【演習】「現代的課題を扱った事業計画の立案2」（事業計画の立案） 講師 国立教育政策研究所 社会教育実践研究センター 社会教育調査官 石津 峰 ◆第3回 【発表】「現代的課題を扱った事業計画の発表」 講師 国立教育政策研究所 社会教育実践研究センター 社会教育調査官 石津 峰	7名 5名 6名
岡山県公民館連合会研修	令和3年5月13日 令和3年6月29日 令和3年10月29日 ※令和3年7月15日を延期して実施 令和3年8月17日 令和4年1月25日	公民館が地域の重要な拠点として、豊かな地域づくりやそれを担う人づくりを推進するために、公民館館長及び職員を対象とした研修を行い、資質能力の向上を図った。 ◆第1回 【講義】「社会をつなげる公民館へー人生100年、AI、そしてポスト・コロナの時代の社会を考えるー」 講師 東京大学大学院教育学研究科 教授 牧野 篤 ◆第2回 【事例発表】 「未来商店街」講師 久米南町中央公民館 「村民が生きて楽しむための『村民講師イベント・ワークショップ』」 講師 あわくら会館 【講義・演習】「地域の『夢』を育む『おすすめ講座』づくり」 講師 岡山大学大学院教育学研究科 教授 熊谷 慎之輔 ◆第3回 【演習】「『夢』がひろがるオンライン体験講座」 「『夢』をひろげるオンライン活用方法」 ◆第4回 【講義】「公民館における人づくり・つながりづくり・地域づくり」 【演習】「たしかめよう！わたしの公民館」 講師 青山学院大学教育人間科学部教育学科 教授 山本 珠美 ◆第5回 【実践報告】 取材報告館 岡山市立操南公民館、瀬戸内市牛窓町公民館、 矢掛町美川公民館、奈義町公民館 発表館 倉敷市茶屋町公民館、岡山市立吉備公民館 【表彰式】第5回「公民館職員が選ぶ！講座アワード」表彰式	46名 41名 24名 39名 55名
地域学校協働活動推進員等レベルアップ講座	令和3年6月17日 令和3年10月8日	地域学校協働活動に関係する地域学校協働活動推進員や市町村担当者などが必要とするコーディネータ、ファシリテータ等の資質・能力の育成・向上を図った。 ◆第1回 【講演】「地域と学校との連携・協働を進めるために」 講師 全国体験活動ボランティア活動総合推進センター コーディネーター 馬場 祐次朗 【講義】「地域と学校の滑らかな協働の在り方 ～CSMAPプログラムによるポジティブサムの作り方～」 講師 CPDI 代表総務省地域人材ネット（地域力創造アドバイザー） 内閣府地域活性化伝道師（教育・地域づくり分野） 三角 幸三 ◆第2回 【行政説明】「地域学校協働活動推進員と地域連携担当者の役割 ～学校を核としてまち全体で子どもたちを育てる連携・協働の在り方～」 【講義】「社会に開かれた教育課程の実現と学校を核とした地域づくりに向けて ～島根県益田市の『ひとづくり』の実践を通して～」 講師 島根県益田市教育委員会ひとづくり推進監 大畑 伸幸 【ワークショップ】「地域学校協働活動の推進に向けて ～地域と学校がwin winの関係となる活動を目指して～」	59名 89名
親育ち応援学習リーダースキルアップ講座	令和3年6月15日	家庭教育関係者や市町村家庭教育担当者等を対象に講義・演習等を行い、ファシリテーターとしてのスキル向上やネットワークの構築を図った。 【講義】「チーム作りのコツ～チームビルドとアップグレード～」 講師 広島県府中町家庭教育支援チーム「くすのぎ」 代表コーディネーター 米田 珠美	44名

事業名	実施期間	内 容 等	参加者数
すこやか家庭教育相談員養成講座・子育てサポータースキルアップ講座	令和3年10月12日	すこやか家庭教育相談員の養成と資質向上、また、家庭教育支援関係者、子育てサポーター等のスキルアップを図り、乳幼児期から少年期の家庭教育に関する専門的知識を習得した。 ◆第1回 【講義】「子育ての現状について～子育ての孤立化を強めるパンデミック～」 講師 山陽学園大学 名誉教授 濱田 栄夫 【講義】「スマホ・ネットの身近なトラブル～リモート社会と家庭のルール～」 講師 就実大学人文科学部 非常勤講師 筒井 愛知 【講義】「食事の選び方と食の記憶」 講師 岡山県栄養士会 管理栄養士 人見 典恵	22名
	令和3年10月19日	◆第2回 【講義】「眠りの脳科学 早ね早おき朝ごはんで元気モリモリ、やる気グングン、笑顔ニコニコ！グッスリパッチリモグモグ大作戦！」 講師 川崎医療福祉大学 教授 保野 孝弘 【講義】「発達に課題を有する子どもたちとのつきあい方」 講師 ノートルダム清心女子大学人間生活学部児童学科 准教授 土居 裕士 【講義】「子育て・親育ちへの支援」 講師 NPO法人子ども達の環境を考える「ひこうせん」 代表理事 赤迫 康代	22名
子どもほっとライン相談員養成講座	令和3年5月16日	新規の学生相談員を養成するため、子どもを取り巻く問題、電話相談の基本的な在り方、カウンセリングに関する知識・技術の習得及び資質の向上を図った。 ◆第1回 【オリエンテーション】 講師 岡山県県民生活部男女共同参画青少年課 総括副参事 藤原 由典 【講義・演習】「電話相談の歴史・原則」 「子どもほっとラインの対応12の原則」 講師 就実大学 講師 林 秀樹 【講義・演習】「メール相談への対応」「メール相談の紙上訓練」 講師 岡山大学 教授 東條 光彦 【講義】「いじめ、虐待等の訴えに対する対応」 講師 岡山県中央児童相談所子ども支援課 総括副参事 廣澤 伸泰	27名
	令和3年5月27日	◆第2回 【事例検討会①、②】「子どもほっとラインの事例から考える」 講師 ノートルダム清心女子大学 教授 中内 みさ	26名
	令和3年5月30日	◆第3回 【講義】「相談業務について」「相談内容の実際」 講師 電話相談員（調査研究委員） 原 実穂、浜野 沙也果 【演習】「電話相談での『傾聴』の意義とスキル」 講師 川崎医療福祉大学 教授 武井 祐子 【講義・演習】「電話における対応困難事例『性の電話』『頻回電話の対応』」 講師 ノートルダム清心女子大学 准教授 日下 紀子	27名

2 市町村・公民館支援、調査研究

事業名	実施期間	内 容 等
生涯学習・社会教育よろず相談	年 間	市町村の生涯学習・社会教育計画、各地域に応じた課題、様々な事業などについて、大学関係者、県生涯学習センター社会教育主事が、市町村教育委員会、公民館等に対するコンサルティングを行うことにより、より有効な生涯学習・社会教育推進体制の整備を図る。令和3年度は市町村からの依頼がなく未実施。
調査研究	年 間	「“協働”を視点とした地域学校協働活動に関する調査研究」について、高梁市立巨瀬小学校、浅口市立寄島小学校、久米南町立久米南中学校の事例を取材し、好事例集としてまとめる。令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、取材可能な内容が限られたため、令和4年度も取材を継続し、冊子にして各市町村教育委員会等に配布予定。

3 学習情報の発信

事業名	実施期間	内 容 等
生涯学習情報提供システムの管理と運営	年 間	「ばるネット岡山」を活用し、講座・イベント、団体、講師等や「おかやま子ども応援人材バンク」の情報等、最新の生涯学習情報を提供するとともに、視聴覚教材のインターネット貸出予約を実施した。
生涯学習情報の収集・整理	年 間	ネットワークで提供する「講座・講演情報」「視聴覚教材情報」「講師・ボランティア情報」「子ども向け情報」「子育て支援情報」等12分類の情報収集・整理に努めた。「講師・ボランティア情報」「学習プログラム情報」の更新を、県・市町村・各種団体等と連携して行った。
企業発！みらプロ	年 間	企業の資源を生かした「学習」と「社会」をつなぐ子どもの「学びの場」の1つとして、社会教育主事がコーディネートし、企業と学習プログラムを協働して作成し、企業等が教育の観点から積極的に社会づくりに参画することの推進を図った。 ◆2企業 ◆プログラム内容 小学校6年理科「大地のつくり」 中学校2年技術・家庭「消費者トラブルとその対策」
おかやま子ども応援人材バンク	年 間	企業・団体が有している専門的な知識や経験などを学校教育や休日・放課後等における教育活動に取り入れ、子どもの豊かな学びや成長を支援する仕組みづくりを推進した。
生涯学習大学 ＜連携講座＞	年 間	行政機関及び民間等が主催する講座を連携講座として協力いただいた。 講座数 517 講座 連携機関 72 機関
学習相談	年 間	学習相談員が視聴覚教材の貸出実績に基づくニーズの分析をしたり、「おかやま子ども応援人材バンク」の相談事例を分野毎に整理したりすることで、生涯学習に関するさまざまな個別の相談に応じた。
情報・図書資料の収集・整理	年 間	図書、逐次刊行物、新聞等を収集・整理し学習者に提供した。
視聴覚コーナーの整備・運営	年 間	郷土に関する映像やアニメーション映画等を提供した。
視聴覚教材・機材の整備・貸出	年 間	県内全域にわたる社会教育団体・学校等に対し、視聴覚教材・機材等の貸出をした。また、DVD 15 作品を購入し、視聴覚教材の整備に努めた。
視聴覚教育の普及・広報活動	年 間	令和4年度版視聴覚教材新着リストを作成するとともに、一般への視聴覚教育の普及と視聴覚教材の利用促進に努めた。
センターだより（情報誌）等の発行	年 間	要覧（1,200部）、情報誌「生涯学習センターだより」（10,000部）、リーフレット等を作成し、関係機関に配付し、センター事業等の紹介をした。

4 「学び・交流の場」としての機能充実

事業名		実施期間	内容等	参加者数
京山祭 ※6月は中止		令和3年6月6日 令和3年12月12日	県内の様々な機関や団体、高等学校、大学等と連携し、子どもから大人まで幅広い世代が楽しく体験しながら学べるイベントを開催した。	728名
発表・展示・体験・交流		年間	展示スペースを28団体に提供した。自発的・自主的な活動を実践する場として交流棟1階交流ロビーを提供しているが、令和3年度の利用はなかった。	
活動促進支援 ボランティアの	企画Labの運営	年間	主に小・中学生を対象に、交流棟2階交流ゾーンで京山祭ブース出展、情報・創作棟施設を利用して交流イベントを、企画・運営した。	
	イベントの運営・補助	年間	京山祭の出展ブースの企画・運営、運営補助等の活動の場を提供した。	
生涯学習大学	<主催講座> ボランティア・スタート講座	令和3年5月23日	若い世代を対象に、ボランティア活動について必要な知識や技能を習得する機会を提供し、社会の一員としてよりよい社会づくりに積極的に参画していこうとする人材の育成を図った。 ◆第1回 【講義】ボランティアって？（ボランティアの意義と心得） 講師 公益財団法人YMCAせとうち 代表理事 太田 直宏 【体験発表】先輩からのメッセージ（ボランティア活動を通して） 講師 NPO法人岡山市子どもセンター 職員 久川 春菜 【演習】参加者同士の絆を深めよう（チームづくり） 講師 吉備中央町立大和小学校 教頭 宇江 賢	12名
		令和3年6月27日	◆第2回 【講義・演習】コミュニケーションのツボをつかむ！ 講師 鳥取大学大学院医学系研究科 教授 竹田 伸也	10名

事業名	実施期間	内 容 等	参加者数
	令和3年9月26日	◆第3回 【企画会議】ボランティア体験の企画を立てよう！	8名
	令和3年10月31日	◆第4回 【ボランティア先とのマッチング】いろいろなボランティアを知り、一歩踏み出そう！ ＜ボランティア受け入れ先施設＞ ・岡山県立美術館 ・岡山県自然保護センター ・国立吉備青少年自然の家 ・岡山県渋川青年の家 ・岡山県青少年教育センター閉谷学校 ・岡山県生涯学習センター人と科学の未来館サイピア ・岡山県生涯学習センター施設ボランティア 【準備】ボランティア体験の準備をしよう	9名
	令和3年12月12日	◆第5回 【実習】やってみようボランティア体験活動 【振り返り】ボランティア体験を振り返ろう	9名
	＜主催講座＞ きつず☆ユニバ	ユニスタ会 ①令和3年7月11日 ②令和3年7月22日 ③令和3年7月24日 ④令和3年7月31日 ⑤令和3年8月8日 スペシャル☆ユニ日 ⑥令和3年12月18日 ⑦令和3年12月25日 岡山県内の文化・社会教育施設9施設が連携して、子どもたちの学びを支援する。学びのスタートキット（ガイドブックや記録ノート）を片手に、各施設をキャンパスとして訪ね、「ホンモノ（美術・文化財・自然等）」と出合いながら、主体的に学んでいく。 「スペシャル☆ユニ日」（各施設での連携・協働ができるイベント）の実施 ⑥「水」コース ⑦「大きい小さい」コース	①20名 ②20名 ③16名 ④16名 ⑤17名 ⑥14名 ⑦13名
施設・設備の提供	年 間	県民に生涯学習センターの施設・設備を開放したり、貸出をしたりした。	

5 科学教育の推進

JAXAとの連携事業

事業名	実施期間	内 容 等	参加者数
学校教育支援	授業支援	JAXA宇宙教育センターの担当者と学校教員が連携して宇宙教育理念を生かした教科授業を行った。 ＜指定校＞岡山市立開成小学校 ◆第1回 【内容】宇宙やロケット、人工衛星はどのような目的で運用されているのかを知り、宇宙開発と地上での生活の繋がりに気づく。また、コミュニケーションパズルを用いて言葉のみで端的かつ正確に伝えることの難しさについて体験する。 講師 JAXA宇宙教育推進室 主事楠 高村 苑実	29名
	令和3年9月30日		
	令和3年12月14日	＜指定校＞岡山市立千種小学校 ◆第1回 【内容】JAXAの仕事には、様々な分野の仕事があることを知り、宇宙開発と生活の繋がりを学ぶとともに、新たな挑戦が成長に繋がることに気づく。 講師 JAXA宇宙教育推進室 主事楠 高村 苑実	32名
	令和4年3月8日	◆第2回 【内容】ISSで生きていくためには何が必要かを考え、ISS内の水や空気の循環システムについて学び、環境について考える。 講師 JAXA宇宙教育推進室 主事楠 高村 苑実	32名
教員研修支援 ※中止	令和3年6月18日	JAXAと連携し、小学校、中学校、高等学校を通じた理科の基礎的・基本的な内容について観察や実験を体験しながら学ぶとともに、地域や校種間の連携を深め、指導力の充実と資質の向上を図る。	
社会教育支援	コズミック カレッジ	子どもたちの豊かな心を育み、好奇心、冒険心、匠の心を備えた創造的な青少年の育成を目的として、科学への関心や探究意欲を喚起する宇宙をテーマとした観察、実験、工作などの活動を行った。 【内容】「ジャイロのヒミツ」 ・ペーパージャイロの工作 ・CDジャイロの工作 講師 立命館大学総合科学技術研究機構 客員研究員 船田 智史	27名
	宇宙の学校	子どもの心に自然と宇宙と生命への限らない愛着を呼び起こし、好奇心・冒険心・匠の心を豊かに備えた明るく元気な子どもを育むことを目的として、宇宙や自然科学をテーマにした話と実験・工作などを行う。 第1回【内容】・開校式 ・オリエンテーション ・スボイトロケット ・葉脈標本 第2回【内容】・紋切り遊び ・ペーパースチロールたこ 第3回【内容】・紙筒ロケット ・静電気 第4回【内容】・熱気球 ・レポート発表会 ・閉校式	30家族 16家族 23家族 18家族
	宇宙の学校指導 者セミナー	宇宙教育の指導者を目指している人や、「宇宙の学校」の講師・ボランティア・スタッフを希望する人のための研修会を開催し、宇宙教育の理念、「宇宙の学校」の意義、事業で用いる教材や指導方法等について研修する。 【内容】・「宇宙の学校」の概要 ・岡山県「宇宙の学校」で使用する宇宙教育教材の説明と演習	15名
	令和3年6月20日		

6 施設設備の利用状況

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

(ア) 情報・創作棟利用（施設貸出）

(件)

施設設備名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
視聴覚室	12	2	4	14	3	0	13	9	13	10	10	12	102
大研修室	25	5	4	26	9	1	24	24	22	19	20	25	204
中研修室	23	4	4	20	13	0	22	21	18	16	10	21	172
洋研修室	4	2	2	9	7	0	7	8	10	9	4	6	68
和研修室	8	0	1	5	4	0	5	4	4	9	3	4	47
ミーティング室1	19	4	3	11	9	1	17	15	14	10	11	12	126
ミーティング室2	24	6	4	22	15	0	20	19	18	14	13	17	172
ミーティング室3	19	4	3	14	9	0	18	16	16	13	13	15	140
ミーティング室4	20	5	5	20	18	0	23	17	12	12	19	19	170
ミーティング室5	24	4	4	24	14	0	35	27	22	18	18	24	214
ミーティング室6	24	12	6	24	23	0	22	15	20	28	25	21	220
美術教室	2	1	3	9	1	0	6	6	7	4	1	2	42
木工教室	4	2	5	7	2	0	6	7	5	3	2	2	45
陶芸教室	6	3	5	14	2	0	8	7	6	3	3	3	60
書道教室	9	2	4	16	4	0	12	14	12	13	7	5	98
パソコン教室	1	0	1	8	7	0	5	0	6	4	4	1	37
ボランティア室	10	6	3	9	12	0	13	19	12	17	16	17	134
スタジオ（控室）	11	7	1	9	10	0	10	18	12	9	7	8	102
試写室	5	0	2	5	6	0	5	3	4	3	1	6	40

(イ) 交流棟利用（施設貸出）

(日)

施設設備名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
交流棟展示スペース	5	15	2	4	7	0	18	16	18	18	25	24	152

(ウ) 人と科学の未来館サイピア利用（施設貸出）

(件)

施設設備名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
サイエンスドーム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
科学体験・学習広場	0	0	4	13	0	2	44	21	9	0	1	4	98
企画展示室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
プロデュースセンター	1	0	0	1	0	0	1	1	0	1	2	1	8

(エ) 人と科学の未来館サイピア利用（施設入館等）

(人)

施設設備名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
サイピア入館者数	6,523	4,609	1,441	9,050	7,659	0	9,159	9,728	6,722	5,438	3,994	6,694	71,017
サイエンスドーム観覧者数	2,000	1,097	643	3,706	3,219	0	4,077	3,354	2,655	1,396	1,526	1,886	25,559

7 生涯学習情報提供システム（ばるネット岡山）

データ保有数

(令和4年3月31日現在)

種 類	件 数	種 類	件 数	種 類	件 数	種 類	件 数
講座・イベント	3,933	団体・グループ	45	講師・ボランティア	149	学習プログラム	102
視聴覚教材	6,066	おかやま子ども応援人材バンク	117	合 計			10,412

8 学習相談件数

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

種 類	件 数	種 類	件 数	種 類	件 数	合 計
講座・団体・講師	21	施設・設備	270	図書・DVD	68	602
視聴覚教材	37	おかやま子ども応援人材バンク	16	学習プログラム・その他	190	

9 視聴覚コーナー

(ア) ソフト保有本数 (DVD)

(令和4年3月31日現在)

種 類	件 数	種 類	件 数	種 類	件 数	合 計
郷土	25	アニメ	214	洋画	116	1,020
邦画	123	教養	87	その他	455	

(イ) 利用状況

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

種 類	DVD教材
回 数	206

10 視聴覚教材コーナー

(ア) 保有本数

(令和4年3月31日現在)

DVD教材	ビデオ教材	16ミリ映画	合 計
1,019	3,229	1,692	5,940

(イ) 貸出状況

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

施設設備名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用本数(本)	DVD教材	15	20	3	39	19	3	42	36	52	19	20	284
	ビデオ教材	0	4	0	0	5	0	1	0	0	0	1	11
	16ミリ映画	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	15	24	3	39	24	3	43	36	52	19	21	295
閲覧者数(人)	DVD教材	1,235	1,754	77	1,080	401	270	4,418	3,309	3,989	1,982	1,488	20,710
	ビデオ教材	0	205	0	0	69	0	25	0	0	0	240	539
	16ミリ映画	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	1,235	1,959	77	1,080	470	270	4,443	3,309	3,989	1,982	1,728	21,249

11 図書・ブラウジングコーナー

図書所蔵冊数

(令和4年3月31日現在)

区 分	冊 数	区 分	冊 数	区 分	冊 数
一般図書	25,579	購入雑誌	18タイトル	購入新聞	6紙

6 関係条例及び規則

岡山県生涯学習センター条例

平成 8 年 12 月 24 日
岡山県条例第 39 号

(目的及び設置)

第 1 条 県民の生涯にわたる学習活動（次条において「生涯学習」という。）の振興を図るため、岡山県生涯学習センター（以下「センター」という。）を岡山市に設置する。

(業 務)

第 2 条 センターは、前条の目的を達成するため、次の業務を行う。

- (1) 生涯学習指導者の養成及び生涯学習関係者の研修
- (2) 生涯学習に関する情報の収集及び提供並びに生涯学習相談
- (3) 生涯学習に関する講座の開設
- (4) 生涯学習に関する調査及び研究
- (5) 科学に関する学習の機会の提供
- (6) センターの施設及び設備（以下「施設等」という。）の提供
- (7) 前各号に掲げるもののほか、センターの目的の達成に必要な業務

(開所時間及び休所日)

第 3 条 センターの開所時間及び休所日は、教育委員会規則で定める。

(指定管理者による管理)

第 4 条 センターの管理に関する業務のうち次条に規定する業務は、第 13 条第 1 項の規定により岡山県教育委員会（以下「教育委員会」という。）が指定するもの（以下「指定管理者」という。）に行わせるものとする。

(指定管理者が行う業務)

第 5 条 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

- (1) 施設等の維持管理に関すること。
- (2) 施設等の利用の許可に関すること。
- (3) 施設等の提供に関すること。
- (4) 前 3 号に掲げるもののほか、センターの運営に関し教育委員会が必要と認める業務

(利用等の許可)

第 6 条 センターにおいて次に掲げる行為をしようとする者は、教育委員会規則で定めるところにより、指定管理者の許可を受けなければならない。許可を受けた事項を変更しようとするときも、同様とする。

- (1) 別表の 1 から 3 までは掲げる施設等の利用
- (2) サイエンスドームにおける天体運行等の投影の観覧
- 2 指定管理者は、センターの管理上必要な範囲内で前項の許可に条件を付することができる。
- 3 指定管理者が別に定める観覧券により観覧しようとする者については、第 1 項第 2 号の観覧に係る許可を受けたものとみなす。

(入所の制限等)

第 7 条 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当する者に対して、センターへの入所を拒否し、又はセンターからの退去を命ずることができる。

- (1) 公共の秩序を乱し、又は善良の風俗を害するおそれがある者
- (2) 施設等を損傷するおそれがある者
- (3) 施設等の利用が、集団的に又は常習的に暴力的不法行為等を行うことを助長するおそれがある団体の利益になると認める者
- (4) その他センターの管理上支障があると認める者

(許可の取消し等)

第 8 条 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当する者に対して、第 6 条第 1 項の許可を取り消し、若しくはその条件を変更し、又は行為の中止、原状回復若しくはセンターからの退去を命ずることができる。

- (1) この条例若しくはこの条例に基づく教育委員会規則又はこれらの規定に基づく処分違反している者
- (2) 偽りその他不正な手段により第 6 条第 1 項の許可を受けた者
- (3) 第 6 条第 2 項の条件に違反している者
- 2 指定管理者は、施設等に関する工事のためその他公益上やむを得ない必要が生じたときは、第 6 条第 1 項の許可を受けた者（次条において「利用者」という。）に対して、同項の許可を取り消し、又はその条件を変更することができる。

(利用料金)

第 9 条 第 6 条第 1 項の許可を受けた行為に係る料金（以下この条において「利用料金」という。）は、指定管理者にその収入として収受させる。

- 2 利用料金は、別表に掲げる基準額に 0.5 を乗じて得た額から当該基準額に 1.5 を乗じて得た額までの範囲内の額で指定管理者が知事の承認を受けて定める額とする。
- 3 利用者は、指定管理者に利用料金を前納しなければならない。ただし、指定管理者が別に納期を定めたときは、この限りでない。
- 4 指定管理者は、特に必要があると認めるときは、あらかじめ知事の承認を受け、利用料金を減免することができる。
- 5 納付した利用料金は、返還しない。ただし、利用者の責めに帰することができない理由により許可を受けた施設等を利用することができなくなったときその他指定管理者が相当の理由があると認めるときは、この限りでない。

(職 員)

第 10 条 センターに、所長その他必要な職員を置く。

(指定管理者の公募)

第 11 条 教育委員会は、指定管理者の指定をしようとするときは、教育委員会規則で定めるところにより、当該指定を受けようとするものを公募するものとする。ただし、特別の理由がある場合は、この限りでない。

(指定管理者の指定の申請)

第 12 条 指定管理者の指定を受けようとするものは、センターの管理に係る事業計画書その他教育委員会規則で定める書類を添えて、教育委員会に申請しなければならない。

(指定管理者の指定)

第 13 条 教育委員会は、次の各号のいずれにも該当するもののうちから最も適当と認めるものを指定管理者として指定するものとする。

- (1) 事業計画の内容が住民の平等な利用を確保することができるものであること。
- (2) 事業計画の内容がセンターの機能を最大限に発揮させるとともに、その管理に係る経費の縮減が図られるものであること。
- (3) 事業計画に沿った管理を安定して行うことができるものであること。
- (4) その他センターの業務を効果的に行うため教育委員会が必要と認める基準に適合するものであること。
- 2 教育委員会は、前項の規定による指定をしたときは、その旨を告示するものとする。

(事業報告書の提出)

第14条 指定管理者は、教育委員会規則で定めるところにより、事業報告書を作成し、教育委員会に提出しなければならない。

(業務報告等)

第15条 教育委員会は、センターの管理の適正を期するため、指定管理者に対して、当該管理の業務又は経理の状況に関し報告を求め、実地について調査し、又は必要な指示をすることができる。

(指定の取消し等)

第16条 教育委員会は、指定管理者が前条の指示に従わないときその他当該指定管理者による管理を継続することが適当でないと認めるときは、その指定を取り消し、又は期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命ずることができる。

2 教育委員会は、前項の規定による指定の取消しをしたときは、その旨を告示するものとする。

(教育委員会規則への委任)

第17条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

この条例は、平成9年1月1日から施行する。

(中略)

附 則

この条例は、令和2年4月1日から施行する。

岡山県生涯学習センター条例別表（第6条、第9条関係）

- | | |
|---------------------------------------|--------|
| 1 施設（情報創作棟施設、人と科学の未来館サイピア施設） | } (表略) |
| 2 冷暖房設備（情報創作棟冷暖房設備、人と科学の未来館サイピア冷暖房設備） | |
| 3 設備金額（液晶プロジェクター等） | |
| 4 観覧料（人と科学の未来館サイピア観覧料） | |

岡山県生涯学習センター条例施行規則

〔平成8年12月24日
岡山県教育委員会規則第19号〕

(趣 旨)

第1条 この規則は、岡山県生涯学習センター条例(平成8年岡山県条例第39号。以下「条例」という。)の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(開 所 時 間)

第2条 岡山県生涯学習センター(以下「センター」という。)の開所時間は、次のとおりとする。

区 分		開所時間
児童遊園地		午前9時から午後5時まで
その他の区域	火曜日から土曜日まで(国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下「休日」という。)を除く。)	午前9時から午後9時まで
	日曜日及び休日	午前9時から午後5時まで

2 前項の規定にかかわらず、岡山県教育委員会(以下「教育委員会」という。)は、必要があると認めるときは、開所時間を臨時に変更することができる。この場合においては、あらかじめその旨をセンターの掲示板に公示するものとする。

(休 所 日)

第3条 センターの休所日は、次のとおりとする。

- (1) 月曜日(その日が休日に当たるときを除く。)
- (2) 休日の翌日(その日が休日でない火曜日から金曜日までに当たるときに限る。)
- (3) 12月28日から翌年の1月4日まで

2 前項の規定にかかわらず、教育委員会は、必要があると認めるときは、休所日に開所し、又は臨時に休所日を定めることができる。この場合においては、あらかじめその旨をセンターの掲示板に公示するものとする。

(天体運行等の投影の回数等)

第4条 サイエンスドームにおける天体運行等の投影の回数及び開始時刻は、指定管理者(条例第4条に規定する指定管理者をいう。以下同じ。)が教育委員会の承認を受けて定めるものとする。

(利用の許可の申請)

第5条 条例第六条第一項の規定により、条例別表に掲げる施設又は設備(以下「施設等」という。)の利用の許可又は許可を受けた事項の変更の許可を受けようとする者は、指定管理者が教育委員会の承認を受けて定める申請書を指定管理者に提出しなければならない。

(利用者等の遵守事項)

第6条 条例第六条第一項の許可を受けた者(以下「利用者」という。)は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。利用者の行う行事等のために入所する者も、同様とする。

- (1) 利用の許可を受けた施設以外の施設に立ち入らないこと。
- (2) 利用の許可を受けた設備以外の設備を利用しないこと。
- (3) 火災、盗難等の事故の発生予防に留意すること。
- (4) センターの職員又は指定管理者の指示に従うこと。
- (5) その他教育委員会又は指定管理者が必要と認める事項

(損壊の届出等)

第7条 利用者は、施設等を損壊し、又は滅失したときは、直ちに教育委員会又は指定管理者に届け出てその指示に従わなければならない。

(利用の終了の届出)

第8条 利用者(条例第6条第1項第2号の観覧に係る許可を受けた者を除く。)は、施設等の利用を終了したときは、速やかに指定管理者に届け出なければならない。

(視聴覚教材等の貸し出し)

第9条 視聴覚教材及び視聴覚機材の貸出しは、生涯学習の目的のために利用する場合に限り、行うものとする。

2 前項の貸出しを受けようとする者は、指定管理者が教育委員会の承認を受けて定める申請書を指定管理者に提出しなければならない。

(そ の 他)

第10条 この規則に定めるもののほか、センターの管理及び運営に関し必要な事項は、教育委員会、所長又は教育委員会の承認を受けて指定管理者が別に定める。

附 則

この規則は、平成9年1月1日から施行する。

(中略)

附 則

この規則は、平成25年4月1日から施行する。

施設等利用料金表

(令和2年4月1日改定)

<情報・創作棟施設・設備利用>

(単位：円)

区 分 施設・設備等 (定員・面積・階)					9:00 ～ 12:00	13:00 ～ 17:00	18:00 ～ 21:00	9:00 ～ 17:00	13:00 ～ 21:00	9:00 ～ 21:00	冷 房 (1時間当)	暖 房 (1時間当)
視 聴 覚 室	72人	261㎡	1 F	5,500	7,400	5,500	14,600	14,600	21,900	650	540	
大 研 修 室	150人	261㎡	2 F	5,200	6,900	5,200	13,700	13,700	20,500	650	540	
中 研 修 室	60人	116㎡	4 F	2,100	2,800	2,100	5,800	5,800	8,600	270	220	
洋 研 修 室	12人	33㎡	3 F	900	1,200	900	2,300	2,300	3,400	80	60	
和 研 修 室	8畳	33㎡	3 F	600	800	600	1,600	1,600	2,500	80	60	
ミーティング室①	18人	28㎡	2 F	600	800	600	1,600	1,600	2,400	70	50	
ミーティング室②	12人	22㎡	2 F	500	600	500	1,300	1,300	1,900	50	40	
ミーティング室③	18人	28㎡	2 F	600	800	600	1,600	1,600	2,400	70	50	
ミーティング室④	18人	40㎡	4 F	800	1,000	800	2,000	2,000	3,000	90	80	
ミーティング室⑤	26人	58㎡	5 F	1,100	1,400	1,100	2,900	2,900	4,300	130	110	
ミーティング室⑥	12人	21㎡	5 F	500	600	500	1,200	1,200	1,800	50	40	
美 術 教 室	35人	80㎡	3 F	2,900	3,800	2,900	7,700	7,700	11,500	390	310	
木 工 教 室	8人	39㎡	3 F	1,000	1,300	1,000	2,600	2,600	3,800	90	70	
陶 芸 教 室	24人	39㎡	3 F	800	1,100	800	2,100	2,100	3,200	90	70	
書 道 教 室	32人	66㎡	3 F	1,200	1,600	1,200	3,200	3,200	4,900	150	130	
パソコン教室	20人	66㎡	4 F	3,100	4,100	3,100	8,200	8,200	12,200	150	130	
ボランティア室	18人	40㎡	4 F	800	1,000	800	2,000	2,000	3,000	90	80	
スタジオ(控室)	—	116㎡	5 F	2,100	2,800	2,100	5,800	5,800	8,600	270	220	
試 写 室	18人	66㎡	5 F	1,400	1,900	1,400	3,700	3,700	5,600	150	130	
放 送 設 備				一式1時間につき 380円 (交流棟に保管しているもの)								
資 料 提 示 装 置				一式1時間につき 140円 (大研修室)								
液 晶 プ ロ ジ ェ ク タ ー				一式1時間につき 230円 (大研修室)								
茶 道 具				一式1時間につき 710円 (和研修室)								
ピ ア ノ				一式1時間につき 1,010円 (スタジオ)								
陶 芸 窯				一台1時間につき 920円								

<人と科学の未来館サイピア施設利用>

区 分 施設・設備等 (定員・面積・階)				9:00～ 12:00	13:00～ 17:00	18:00～ 21:00	9:00～ 17:00	13:00～ 21:00	9:00～ 21:00	冷 房 (1時間当)	暖 房 (1時間当)
サイエンス ドーム	132席	176㎡	2 F	51,100	68,100	51,100	136,200	136,200	204,300	1,200	1,130
				8,900	11,900	8,900	23,700	23,700	35,500	1,200	1,130
科学体験・学習広場	—	237㎡	1 F	5,800	7,700	5,800	15,500	15,500	23,200	410	310
企 画 展 示 室	—	101㎡	2 F	2,100	2,900	2,100	5,700	5,700	8,500	170	130
プロデュースセンター	—	70㎡	1 F	1,800	2,300	1,800	4,700	4,700	7,000	120	100

※12:00～13:00及び17:00～18:00の使用料の額は13:00～17:00の使用料額の1/4の額とする。(10円未満切り上げ)

※1時間未満の時間は1時間として計算する。

冷房期間：6月1日～9月30日、暖房期間：12月1日～3月31日

特例期間：上記冷暖房期間の前後2週間程度(工事などのため、冷暖房の利用ができない場合がある。)

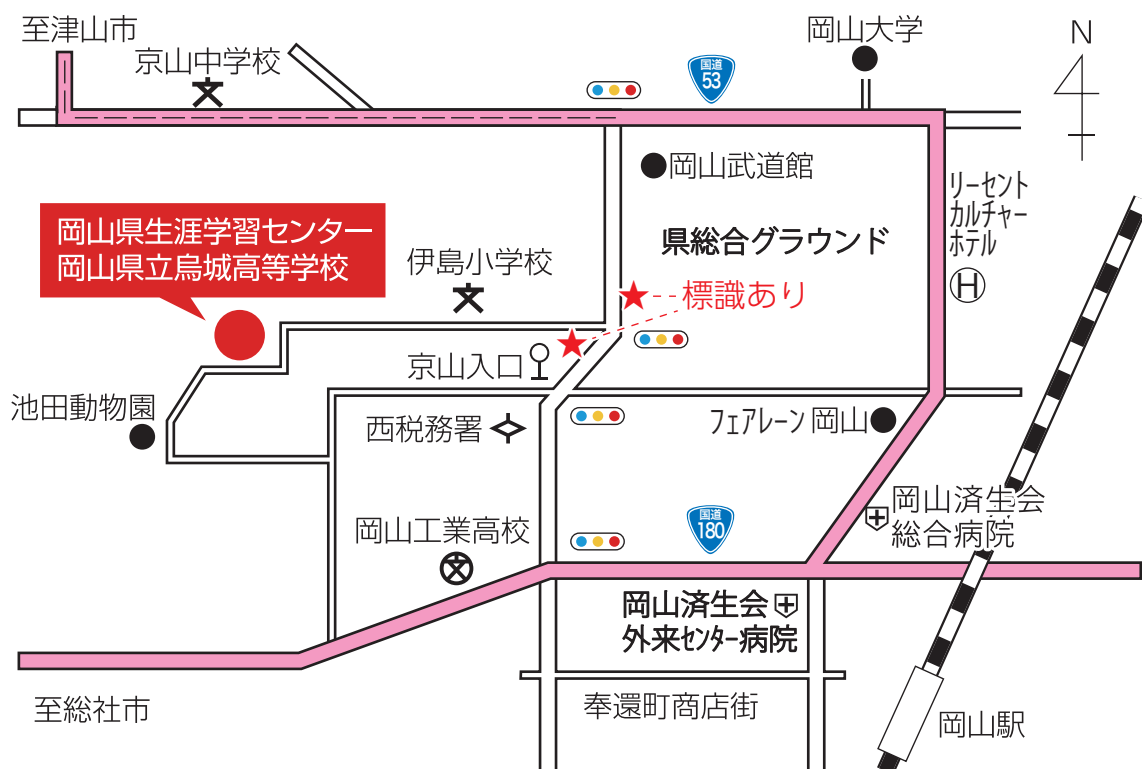
<人と科学の未来館サイピア観覧料>(1人1回につき)

(令和元年10月1日改定)

区分	観覧料	割引料金
一般(65歳未満)	530	団体480/ももっこ500
一般(65歳以上)	320	団体270/ももっこ300
高校生	310	団体250/ももっこ250
小学生・中学生	110	団体90/ももっこ90
小学生未満	無料	無料

※友の会会員は年度内無料、団体利用(30名以上)及びももっこカード利用による観覧の場合は割引料金を適用する。ただし、特別投影及びイベント等を除く。

交通案内



- 車** ・JR岡山駅運動公園口(西口)から約5分 ・山陽自動車道岡山I.Cから約10分(伊島小学校前西進つきあたり)
- バス** ・岡電バスJR岡山駅運動公園口(西口)から中央病院線京山入口下車 徒歩8分(所要時間約13分)
- 徒歩** ・JR岡山駅運動公園口(西口)から約25分(1.7km)

※ナビで「岡山県生涯学習センター」が見つからないときは、
「岡山県立烏城高等学校」で入力してください。

開所時間

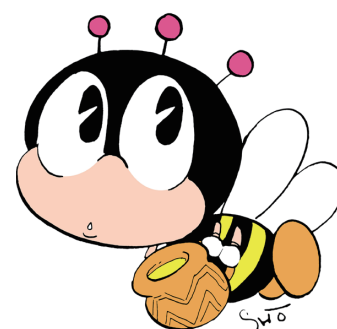
火曜日～土曜日：午前9時 から 午後9時 まで
日曜日・祝 日：午前9時 から 午後5時 まで

休所日

月曜日(その日が祝日に当たるときを除く。)
祝日の翌日(その日が祝日でない火曜日から金曜日までに当たるときに限る。)
12月28日 から 翌年1月4日 まで

お問い合わせ

- | | |
|-------------------------|--------------------------------|
| ● 総合案内
(施設・視聴覚教材等予約) | ☎086-251-9788 fax 086-251-9781 |
| ● 総 務 課 | ☎086-251-9750 fax 086-251-9757 |
| ● 振 興 課 | ☎086-251-9751 |
| ● 学習相談 | ☎086-251-9758 |
| ● 人と科学の未来館サイピア | ☎086-251-9752 fax 086-251-9780 |



生涯学習マスコット
「マナビ」

発 行

岡山県生涯学習センター

〒700-0016 岡山市北区伊島町三丁目1番1号

ばるネット岡山

検索



<https://www.pal.pref.okayama.jp/>
<https://www.facebook.com/okasyogaise/>